



アジア低炭素社会への道筋を考える：

アジア低炭素社会実現のビジョンと方策とは

アジア低炭素社会研究から見えてきたもの

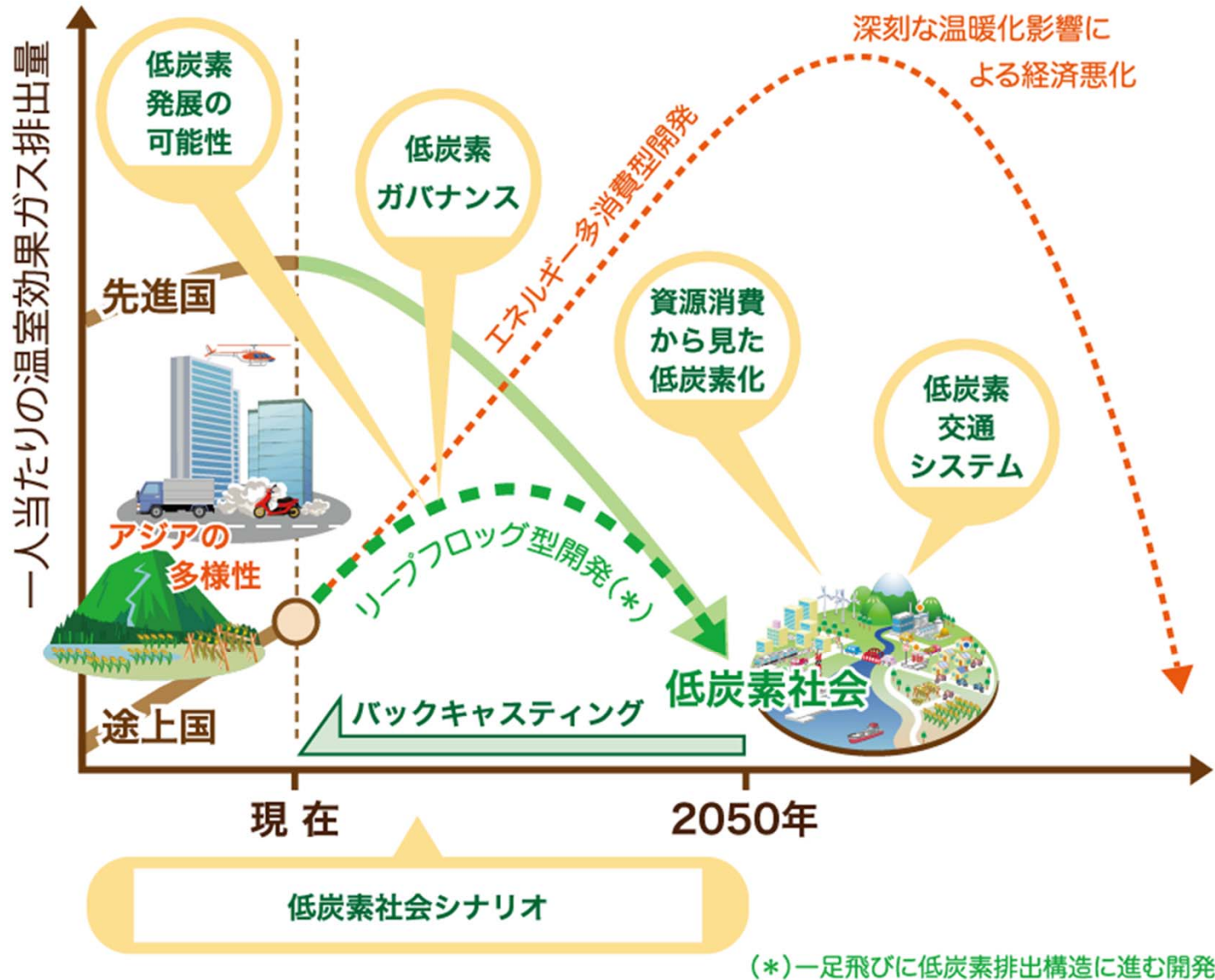
国立環境研究所

甲斐沼 美紀子

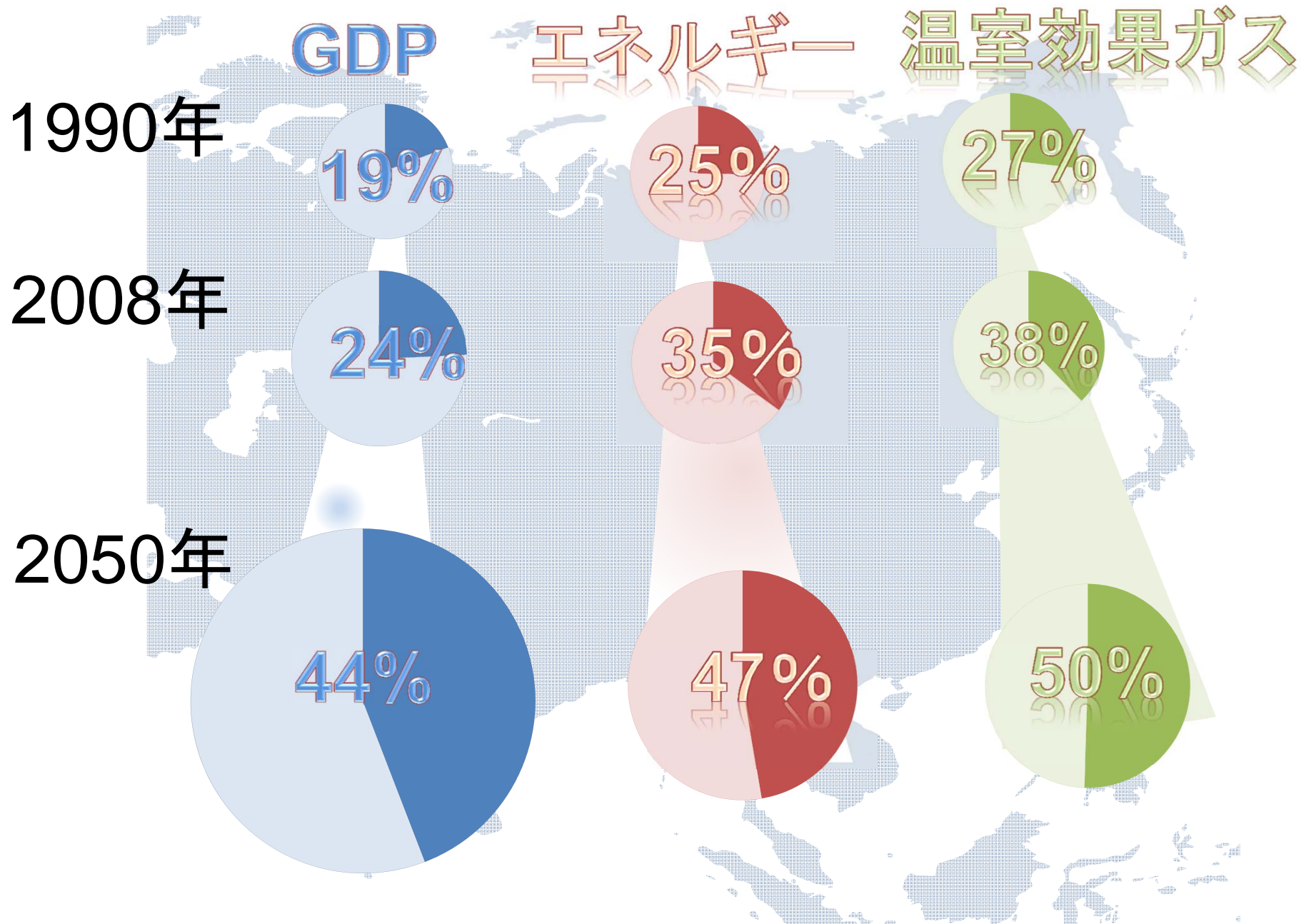


YNU

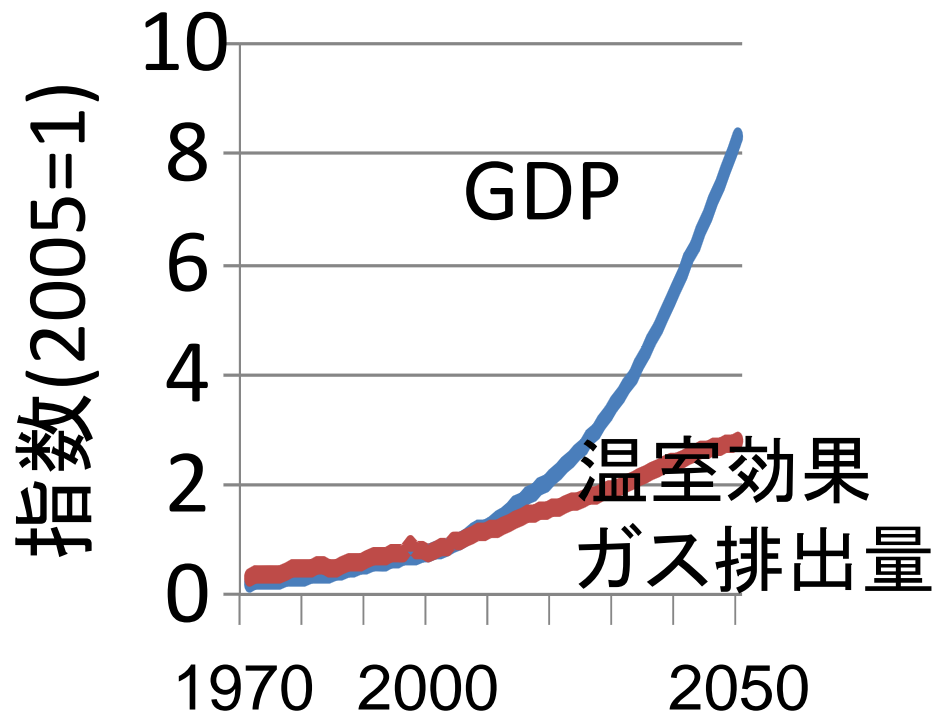
5つの研究チームのアプローチ



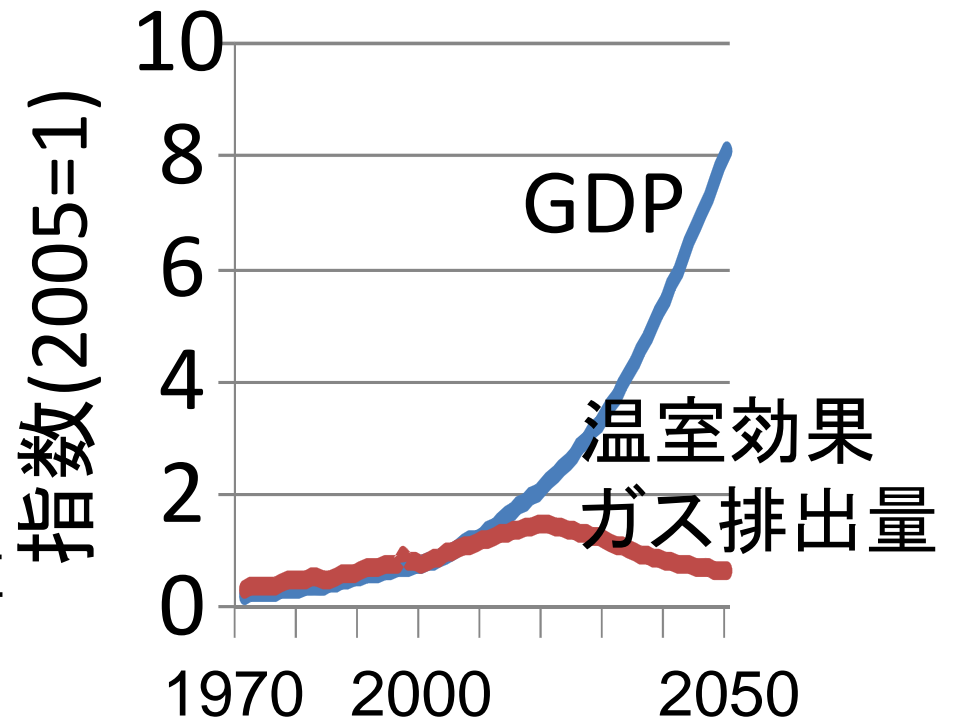
高まるアジアにおける対策の重要さ



ディカップリングは可能か？



参照シナリオ



世界半減シナリオ

アジアのGDPと温室効果ガス排出量の予測

リープフロッグ型発展の要素

- 1) クリーンエネルギーの導入
再生可能エネルギー、燃料電池、コージェネレーション、リサイクルエネルギー、CCS、IGCCなど
- 2) スマートグリッドの整備、分散型発電
- 3) 地域の気候にあわせた低炭素住宅、需要側の省エネ技術
- 4) 脱物質化、資源循環利用
- 5) 交通技術革新(IT、車両／機体素材、電化)
- 6) スマートシティと新交通システム など

リープフロッグ型発展を支える基盤

ガバナンス、資金、国際協力、各国政府のビジョン

3つのメッセージ

1. アジア各国が低炭素社会を実現するには、ビジョンを持って行動することが重要である。
2. アジアで経済成長を進めながら温室効果ガス排出量を大幅に削減するには、科学的知見に基づいたリープフロッグ型開発が不可欠である。
3. ビジョンを実現する人材の育成がアジア低炭素社会形成のカギを握る。



- 資源需要、低炭素交通システムなどを考慮した世界半減シナリオの分析
- 高炭素社会基盤のロックインを避けるための国際的な協力・協定、ガバナンス、資金調達などについての検討

ご清聴ありがとうございました
